

# 令和5年度 標準学力分析検査結果

嘉麻市教育委員会 学校教育課

## 1 調査の目的

生徒の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善及び進路指導に役立てる。

## 2 調査対象の学年

中学校全学年

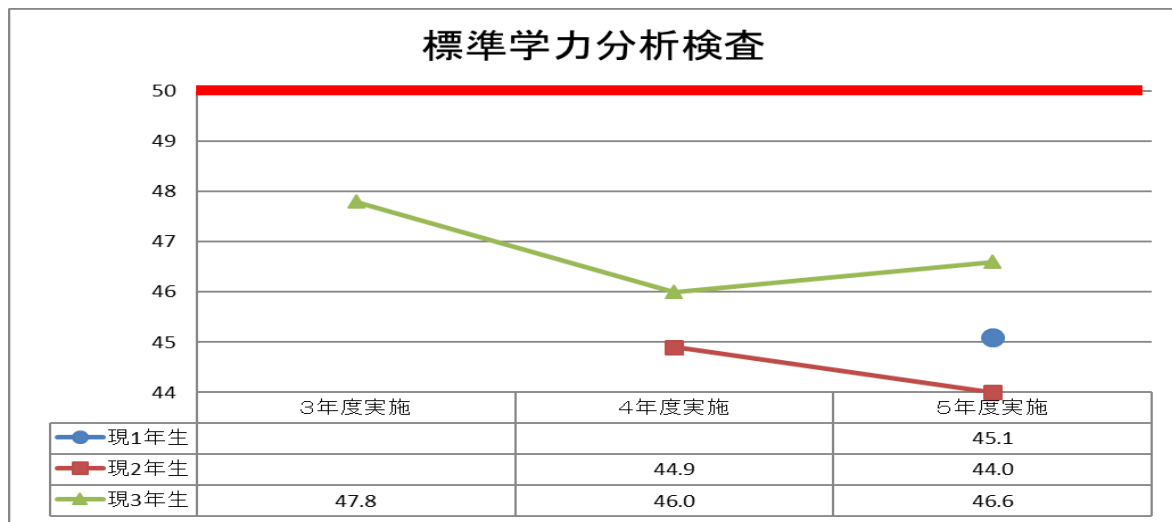
## 3 調査の内容

前年度までの学習内容

・全学年（国語・社会・数学・理科・英語）

めざせ！標準偏差値（50）超え！！

	31年度実施	2年度実施	3年度実施	4年度実施	5年度実施
嘉麻市平均	48.8	48.6	47.1	46.0	45.5
標準偏差との差異	-1.2	-1.4	-2.9	-4.0	-4.5



- 標準偏差値（50）を超えることを目指して取り組んできましたが、平成31（令和元）年度以降、市の偏差値平均は下降傾向にあり、標準偏差値（50）から4.5ポイント離れた状況です。しかし、現1年生は昨年度の1年生（現2年生）より、0.2ポイント、現3年生は昨年度よりも0.6ポイント上昇しました。

### 【成果】

- 5教科平均では、目標値を達成することができていませんが、目標値を超える学年・教科が2校ありました。これは、教科における授業改善が図られたり、学年の学力向上策が有効であったりしたからだと考えます。

### 【課題】

- 基礎・基本の確実な定着にむけ、個に応じた習熟度別指導の仕組みづくりや思考を伴う「書く活動」、学力層に着目した授業改善を進めていく必要があります。
- 週末の家庭学習時間ゼロ時間の児童生徒が、9.2%と週末に家庭学習の取り組めていない児童生徒が多く、家庭学習の習慣化に課題があります。
- 大量退職・大量採用に伴う教師の授業力低下が指摘されており、教員の授業力向上を図る必要があります。

### 【改善策】

- 1人一台端末（カスタ）等のICT機器の効果的な活用や「思考を伴う書く活動の徹底」や「習熟度別指導」等、各学校で個別最適な学びと協働的な学びの実現を図り、学習内容の定着に取り組みます。
- 家庭学習の定着に向けてカスタの持ち帰りを促進させ、AIドリルを活用し、個に応じた学習課題を提供します。
- 教員の指導力向上にむけて、学校で学習過程を統一する等の日常的・組織的な授業改善を推進します。